

MediciNova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号： 4875 東証 Jasdaq
問合わせ先：東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号： 03-3519-5010
E-mail： info@medicinova.com

MN-001 の肺線維症 (Pulmonary Fibrosis, PF) モデル試験結果についての

学会プレゼンテーションのお知らせ

2014年9月1日 米国 ラ・ホイヤ発 - メディシノバ(MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一) は、2014年9月20日から24日までカナダ、ケベック州モントレブラント (Mont Tremblant) 市で開催される第18回国際呼吸器線維症学会において、MN-001 の肺線維症動物モデルにおける試験結果に関するプレゼンテーションが採択されましたのでお知らせします。学会発表は9月23日午後に予定されており、タイトルは「MN-001 (tipelukast), a nonselective phosphodiesterase, 5-lipoxygenase, leukotriene, phospholipase C and thromboxane A2 inhibitor, demonstrates anti-fibrotic effects in the Bleomycin-induced idiopathic pulmonary fibrosis mouse model」です。

当社は2014年6月12日付けのプレスリリースで、MN-001 のブレオマイシン誘発肺線維症 (Bleomycin-induced Pulmonary Fibrosis) 動物モデルにおける試験結果をお知らせいたしました。本学会ではそれらの試験結果について詳細に発表する予定です。

MN-001とは

MN-001は、経口投与の新規化合物で、炎症を抑える効果が期待されています。MN-001には、気管支喘息や間質性膀胱炎のようなマスト細胞脱顆粒が引き起こす炎症性疾患治療において重要な抗炎症作用 (ロイコトリエン受容体拮抗作用、フォスフォジエステラーゼⅢ及びⅣ、5-リポキシゲナーゼ、フォスホリパーゼC、トロンボキサンA2の阻害など) が認められております。近年、5-リポキシゲナーゼ (5-L0) 経路を介したロイコトリエン生合成阻害による関節炎、変形性関節症、アレルギーなどの炎症疾患の症状の軽減および、線維化の予防の可能性が知られており、当社は、MN-001が線維症治療に貢献できる可能性があると考えております。

当社は、MN-001に関し、気管支喘息及び間質性膀胱炎治療薬として臨床開発を進めてきており、喘息治療薬としては、軽度から中等度の喘息患者147人に対して行なったフェーズ2臨床治験を2005年第4四半期に完了し、良好な結果が得られております。

MN-001は現在まで600名以上の方に投与され、良好な認容性が確立されております。

ブレオマイシン誘発性肺線維症モデルとは

ブレオマイシンは抗がん剤の1つで、様々な癌の治療に用いられていますが、重篤な副作用の1つとして肺の線維化が知られています。マウスのブレオマイシン (BLM) 誘発性肺線維症モデルは、肺損傷および肺線維症の実験モデルとして汎用されています。

肺線維症とは

肺の高度な線維化を主体とし、拘束性換気障害 (肺が伸縮性を失い固くなることで十分に換気出来ない状態) をきたす肺疾患。肺の線維化は抗がん剤の副作用、アスベストへの暴露など様々な原因

で起こり得ますが、中でも原因不明の特発性肺線維症は非常に予後不良な難病で平均寿命は診断から3-5年とされています。米国での罹患者は12.8万人と言われ、さらに毎年48,000人が新たに診断されているとのことです。現在米国には、FDAで認可されている特発性肺線維症の治療薬はありません。

以上

メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。現在当社は、進行型多発性硬化症、ALS、オピオイド依存症をはじめとする多様な神経系疾患適応の MN-166、喘息の急性発作を適応とする MN-221 及び NASH、肺線維症など線維症疾患を適応とする MN-001 に経営資源を集中することを戦略としております。MN-166 についてはさまざまな適応で開発途中ですが、そのほとんどが、治験責任医師または公的、私的機関からの資金援助により行われています。当社はさらに、戦略的提携または共同機関の資金提供を受けるべく交渉を続けております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州ラ・ホイヤ、スイート 650、エグゼクティブ・スクエア 4275 (電話 1-858-373-1500) です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床治験に関する記述、既存または将来の臨床治験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床治験の結果、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。